

1. 評価規準

観点別学習状況の「B」に相当するものが、評価規準です。

単元など	主な評価規準			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
単元1 生物の世界	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。	いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
単元2 物質の すがた	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などをを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現している。	身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
単元3 身近な 物理現象	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などをを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現している。	身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
単元4 大地の変化	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けている。	大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などをを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現している。	大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

2. 評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

- 定期考査
- 小テスト
- 観察実験のプリント、レポート
- 授業プリント
- 提出物の内容
- 授業への取り組みの姿勢
- 夏休みの課題（自由研究）

②観点別評価と各評価資料との関係

- 観点別評価で、各資料がどのくらいの割合を占めるか示しています。

◎…とても重視する ○…重視する △…参考にする場合がある

観点	学習活動	重み付け	定期考査	小テスト	観察実験のプリント	授業プリント	提出物の内容	授業への取り組みの姿勢	夏休みの自由研究
知識・技能	100	◎	○	◎	◎	○			○
思考・判断・表現	100	◎	○	◎	◎				○
主体的に学習に取り組む態度	100				◎	◎	○	○	

1. 評価規準

観点別学習状況の「B」に相当するものが、評価規準です。

単元など	主な評価規準				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
単元1 化学変化と 原子・分子	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現している。	化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
単元2 生物の体の つくりと はたらき	生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物の体のつくりと働き、動物の体のつくりと働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な植物や動物の体のつくりと働きについて問題を見いだし、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現している。	生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
単元3 電流と その利用	電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現している。	電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
単元4 気象のしく みと天気の 変化	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現している。	気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		

2. 評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

- ・定期考査
- ・小テスト
- ・観察実験のプリント、レポート
- ・授業プリント
- ・提出物の内容
- ・授業への取り組みの姿勢
- ・夏休みの課題（自由研究）

②観点別評価と各評価資料との関係

・観点別評価で、各資料がどのくらいの割合を占めるか示しています。

◎…とても重視する ○…重視する △…参考にする場合がある

観点	学習活動	重み付け	定期考査	小テスト	観察実験のプリント	授業プリント	提出物の内容	授業への取り組みの姿勢	夏休みの自由研究
知識・技能	100	◎	○	◎	◎	○			○
思考・判断・表現	100	◎	○	◎	◎				○
主体的に学習に取り組む態度	100			◎	◎	○	○		

1. 評価規準 観点別学習状況の「B」に相当するものが、評価規準です。

単元など	主な評価規準								
	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
単元1 運動と エネルギー	物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギー、エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。				運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験を行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギー、エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。				
単元2 生命の つながり	生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。				生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。				
単元3 自然界の つながり	日常生活や社会と関連付けながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、微生物の働きなどを調べる観察、実験などに関する技能を身に付けている。				身近な自然界のつながりなどを調べる観察、実験などを行い、自然界のつり合いについて、科学的に考察して判断している。				
単元4 化学変化と イオン	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。				化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。				
単元5 地球と宇宙	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。				地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。				
単元6 地球の明るい 未来のために	日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、エネルギーと物質、自然環境の保全と科学技術の利用を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。				身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。 日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。				

2. 評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

- 定期考査
- 小テスト
- 観察実験のプリント、レポート
- 授業プリント
- 提出物の内容
- 授業への取り組みの姿勢

②観点別評価と各評価資料との関係 ※観点別評価で、各資料がどのくらいの割合を占めるか示しています。

◎…とても重視する ○…重視する △…参考にする場合がある

観点	学習活動	重み付け	定期考査	小テスト	レポート	観察実験のプリント	授業プリント	提出物の内容	授業への取り組みの姿勢
知識・技能	100	◎	○	◎	◎	○			
思考・判断・表現	100	◎	○	◎	◎				
主体的に学習に取り組む態度	100			◎	◎	○	○		